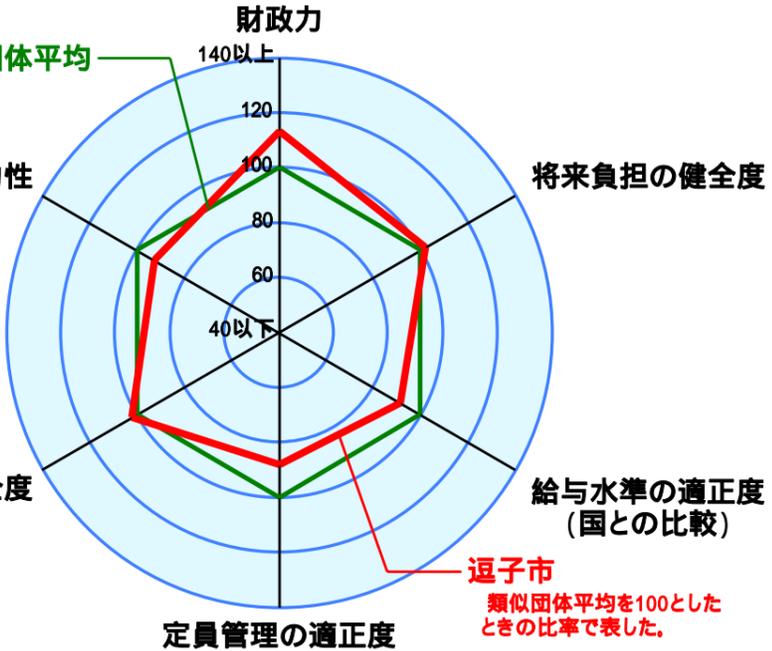
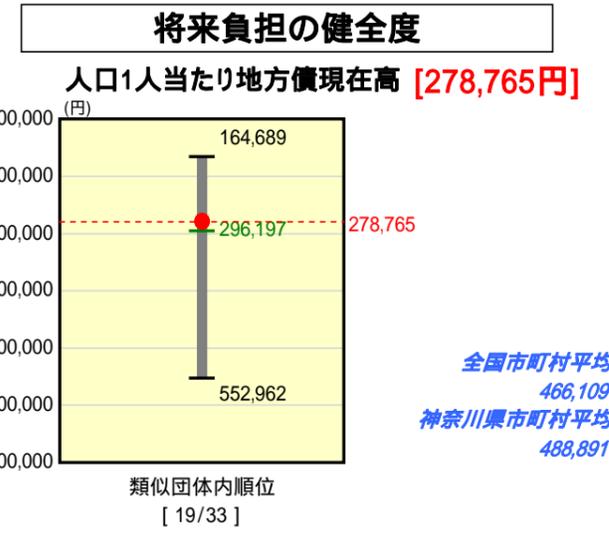
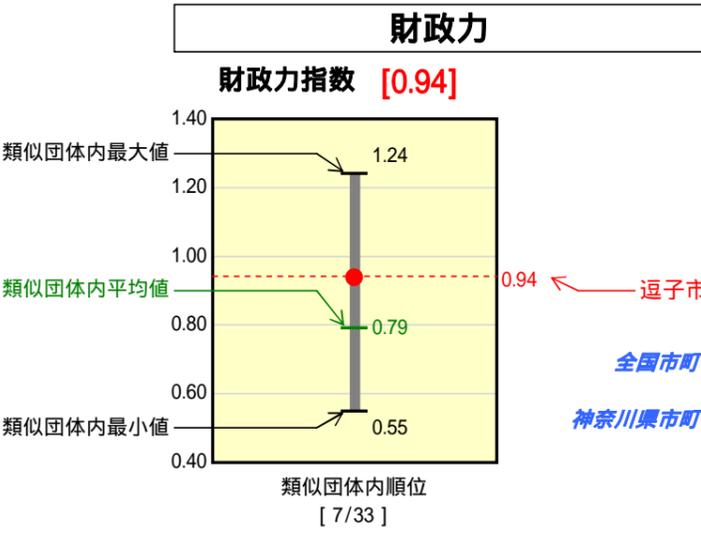


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

神奈川県 逗子市

人口	59,801人(H17.3.31現在)
面積	17.34 km ²
歳入総額	19,814,708千円
歳出総額	18,955,616千円
実質収支	812,368千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数： 3ヵ年連続した伸びをみせ、類似団体平均を上回っているものの、決して財政状況が好転している状況とは言えない。今後も大幅な増収は期待できないため人件費の削減等歳出削減に努める。

経常収支比率： 扶助費をはじめとする義務的経費や特別会計への繰出金等の大幅な増加により前年比3.3%上昇した。今後は定年退職者の増加が見込まれるため、引き続き厳しい状況が続くものと思われる。

起債制限比率： ここ数年徐々に数値が高まっているものの類似団体平均を下回るレベルである。今後は減税補てん債や臨時財政対策債の償還が始まることから、数値の増加傾向は続くものと思われる。

人口1人当たり地方債現在高： 文化教育ゾーンの整備などにより、前年度より約3万円の増となり、年々増加している傾向にあるが、依然類似団体平均を下回っており、将来負担の健全度は高いと言える。

ラスパイレス指数： 平成12年は102.7(県内37団体の23位)から平成17年は99.9(同16位)と給与水準見直しの効果が現れている。しかしながら、平成17年類似団体平均97.7を上回る状況にあることから、給料表の構造見直し等引き続き検討を行うと共に、手当の見直しを行っていく。

人口1,000人当たり職員数： 退職者補充の抑制、非常勤職員の多用化やアウトソーシング等手法を用いて、消防を除く職員数を平成14年474名から20年間で概ね51.1%削減する構想を打ち立て、平成17年4月1日現在424名と当初5年間で12.3%の削減目標に向け順調に推移している状況にある。

